令和６年度指定管理運営業務評価票

**資料２**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設名称：**大阪府立近つ飛鳥博物館等** | 指定管理者： ＡＫＮ共同事業体 | 指定期間：令和５年４月１日～令和８年３月31日 | 所管課：大阪府教育庁 文化財保護課 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | | 評価の基準（内容） | 指定管理者の自己評価  （12月記入） |  | 施設所管課の評価  （１月記入） |  | | | | 評価委員会の指摘・提言 |
| 評価 | R5  評価 | R6  評価 | R7  評価 |  | |
| S～C |
| **Ⅰ提案の履行状況に関する項目** | (1)施設の設置目的および管理運営方針 | ◇館の設置目的及び提案内容に沿った管理運営がなされているか  ○資料の収集・保管・展示  ○調査研究による最新の成果の発信  ・館報の刊行 １ 回  ・図録の刊行 ３ 回  ○一須賀古墳群との一体的な活用 | ○資料の収集、保管、展示  ・常設展示室・特別展示室は、目視点検により展示品を管  理。  ・展示室・収蔵庫（特別・一般）において温湿度データ収  集。  ・特別収蔵庫温湿度のモニター監視。  ・重要文化財「修羅」の点検を２月に実施予定。また、紫金山古墳・南塚古墳の保存状況点検を実施予定。  ・写真画像等の管理・保管については、写真室で温度管理の下で保管し、画像の貸出等に対応している。  ・新規寄贈図書をデーターベースに入力950冊。  ○調査研究による最新の成果の発信  ・館報を3月に刊行予定。  ・春季企画展・夏季特別展・秋季特別展において図録を刊行した。  ◯一須賀古墳群との一体的な活用  ・校外学習等に対しては、風土記の丘のウォークラリー等を積極的に紹介。  　（校外学習におけるウォークラリー件数／４月～11月　６校）  ・風土記の丘古墳探検ツアーの実施  ・自然観察会等の実施の補助などを通して、多角的な利用に便宜を図り、古墳や古墳時代に興味・関心を醸成していただく取り組みを行っている。  ・大阪芸術大学との連携展示において、一須賀古墳群出土の資料を展示予定。  ・うめまつり（２月22日（土）・23日（日））、さくらまつり（３月29日（土）・30日（日））を開催予定  ◎自己評価  館の設置目的及び提案内容に沿った管理運営を実施した。 | Ａ | ○資料の収集・保管・展示  評価基準を満たしている。実物資料の適切な管理・活用等が行われているほか、関係機関等からの多数の寄贈図書についても適切に管理されている。  ○調査研究による最新の成果の発信  年度内に評価基準を満たす見込みである。  各展覧会に関する充実した内容の図録が刊行された。研究報告も博物館の調査研究発信の取組みとして適切に刊行した。  〇一須賀古墳群との一体的な活用  評価基準を満たしている。校外学習や展示等を通して一須賀古墳群との一体的な活用を図っている。考古学分野にとどまらない試みとして、自然観察会や近隣大学との連携など、地域の博物館として多角的な活用の姿勢がみられる。  ◎施設の設置目的および管理運営方針にかかる評価  すべての評価基準を満たしている、またはその見込みである。研究の成果の発信及び一須賀古墳群との一体的な活用において、多角的な試みが図られていると評価できる。 | A | A |  |  | |
| (2)平等な利用を図るための具体的手法・効果 | ◇公平なサービスの提供と対応、障がい者・  高齢者等への配慮がなされているか  ○高齢者、障がい者等への利用援助  ○子どもにもわかりやすい解説の充実  ・子ども向け解説・リーフレットの  提供等 9回 | ○高齢者、障がい者等への利用援助  ・敬老の日（9月16日）に65歳以上入館料無料として利用促進を図った（総入館者数219名）。  ・受付に老眼鏡を配備し、希望者に貸し出している。  ・障がい者支援施設の施設利用に対する要望、また支援学校等の校外学習にも適切に対応している。  ※12月6日（金）に大阪府立西浦支援学校高等部の校外学習に、学校と協力相談しながら対応予定。  ○子どもにわかりやすい解説の充実  ・春季企画展／解説シートの作成・オリジナルキャラクター人気投票（２回）  春季企画展では、解説シートを無料配布して展示内容をより深く理解できるよう配慮するとともに、大人も子どもも楽しめるように展覧会オリジナルキャラクター人気投票を実施した。  ・夏季特別展フロッタージュ作成とフォトスポット設置（フロッタージュ４点、フォトスポット１点）  夏季特別展では、展示品を身近に感じてもらえるよう、展示資料をモチーフにしたフロッタージュを常設し、作品を壁面に掲示できるコーナーを設置した。また展示に親しんでいただくため、あわせて広報にも資するため、フォトスポットを設置した。  ・「もっと知りたい」パネルの設置（４点）  各展覧会では、解説パネルの図や文字を大きくしてわかりやすく表示したり、子ども向け解説パネル（「もっと知りたい」パネル）を設置したりするなど、わかりやすく丁寧な解説を心がけた。  ・ワークシートの活用（指令書１点、ラリーカード１点）  校外学習では、ワークシート（指令書）の利用を推奨するとともに、展示室内の見学には、学芸員やスタッフが常駐し、質問への対応や簡単な解説など丁寧な対応に努めている。  ◎自己評価  校外学習の受け入れは事前に周到な準備を行い、利用者とコミュニケーションをとりご要望に添えるよう、適切な対応に努めた。 | Ａ | ○高齢者、障がい者等への利用援助  高齢者や障がい者への援助や、利用促進を図る事業が実施されている。  ○子どもにもわかりやすい解説の充実  評価基準を満たしている。子ども向けの解説パネルやリーフレットの提供を計11点行ったほか、人気投票２回の実施など、企画展・特別展の際にはそれぞれの展覧会に合わせたコンテンツを用意することで、子どもにもわかりやすい解説を心掛けるなど、その充実が図られている。  ◎平等な利用を図るための具体的手法・効果にかかる評価  すべての評価基準を満たしている。学校への積極的な利用を促すとともに、内容面でも当該の年齢層からの支持を得られるように工夫をしている。 | A | A |  |  | |
| (3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果 | ◇利用者増加のための工夫がなされているか  ○展覧会・スポット展示等の実施  ・開催回数 ５ 回  ○講演会等の実施  　・特別展・企画展等関連講演会、  入門講座等の実施　18回  ○学校教育との連携  　・学校等の受入  　・学校教育の発表の場の提供 4 回  　・出前授業の実施  ・博学連携事業の推進  ○「でかける博物館」事業の実施  ・出張展示 2 回  ・出張講座・ワークショップ 5 回  **・**れきしウォーク 3回  ○「府民が参加する博物館」事業の実施  　・近つ飛鳥ギャラリーの実施 ５ 回  　・バックヤード探検ツアー 5 回  ○「風土記の丘」の活用  　・風土記の丘古墳探検ツアー 2 回  ○広報の積極的な展開  ◇利用者数  ○入館者数、館外利用者数及び風土記の丘利用者数  令和6年度年間目標  　・入館者数　65,000 人  　・館外利用者数 13,000人  　・風土記の丘利用者数122,700人  令和5年度実績  ・入館者数　65,953 人  ・館外利用者数　18,268 人  ・風土記の丘利用者数　122,657 人  〇類似施設との比較  ◇利用者満足度調査  ○利用者満足度調査の結果  　　・「満足」「やや満足」の割合 90 ％ | ○展覧会・スポット展示等の実施  ・春季企画展「四天王寺と古代王権」（開催日数50日、展示室入場者4,283人）  ・夏季特別展「5周年!すごいねん!!百舌鳥・古市古墳群!!!」  （開催日数56日、展示室入場者5,605人）  ・秋季特別展「発掘された日本列島2024」地域展 一須賀古墳群と渡来人  （開催日数49日、展示室入場者4,617人）  ・スポット展示「地震と考古学　湖底遺跡と地震跡」（滋賀県立安土城考古博物館との相互展示）（1月18日（土）～2月16日（日）を予定）  ・スポット展（大阪芸術大学との連携展示）「脈打つ情景」（1月25日（土）～2月11日（月・祝）を予定）  ○講演会等の実施  講演会：春季企画展関連1回（講師２名）、夏季特別展関連２回（講師５名）、秋季特別展関連３回（講師６名）を実施した。  土曜講座：4回実施（計6回実施予定）  入門講座：4回実施（計６回実施予定）  ○学校教育との連携  ・学校等の受入９回（11月現在）。  　12月に1回受入を予定。  ・学校教育の発表の場の提供３回 。  　南河内東部小学校「児童はにわ展（出前授業作品展）」  （開催日数15日間、入館者数4,474名）  　古墳の森コンサート（南河内地区高校軽音楽部）  　　春４月29日（月・祝）（120人）、秋11月3日（日・祝）（130人）の２回開催  ・出前授業の実施53校  ・博学連携事業の推進。  大学からの要望により博物館実習を実施（8月7日～8月11日）。また、四天王寺大学の博物館実習（10月26日）を実施。  遠方他府県の高等学校 ・中学校の研究旅行受入れ（11月17日 田園調布学園中学校）。  大阪芸術大学との連携協定に基づき、芸術計画学科と共催で、考古資料と芸術のコラボレーションによる展示を１月25日から2月11日に実施予定。  ○「でかける博物館」事業の実施  ・滋賀県立安土城考古博物館での出張展示「地震と考古学 応神天皇陵古墳に見える地震災害の痕跡と後世の祭祀」（開催期間1月25日～2月24日を予定）。  ・大阪府立狭山池博物館との連携展示「遺跡からみる災害と復興」（2月8日～3月23日を予定）  主催 大阪府教育委員会、公益財団法人大阪府文化財センター、大阪府立狭山池博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館  ・出張講座　２回  　近鉄文化サロン阿倍野　摂河泉考古学談義2024  ・出張ワークショップ　７回  　　道明寺天満宮（ハニワづくり）  　　守口市役所（勾玉づくり）  　　堺市東文化会館（ハニワづくり）  　　MCみはら（スリーステップで古墳を学ぼう）  　　島本町立人権文化センター（勾玉づくり）  　　旧河澄家住宅（ハニワづくり）  　　山本家住宅「結縁祭」（土器・銅鏡パズル、勾玉作り）  ・大阪および近隣の古墳や史跡を当館学芸員が案内する「れきしウォーク」を３回実施。  ○「府民が参加する博物館」事業の実施  ・近つ飛鳥ギャラリーの実施　３回（今年度５回予定）  ５月14日（火）～26日（日）太子町水彩画クラブ作品展  ７月20日（土）～８月４日（日）第5回kids考古学新聞コンクール全国巡回展  10月３日（木）～31日（木）ボタニカルアート手法による動物画展  11月８日（金）～11月24日（日）南河内地区東部小学校児童はにわ展  令和７年２月11日（火）～３月２日（日）このこのアート障害児童によるアート展（予定）  ・博物館バックヤード探検ツアー ３回  （今年度残り２回予定　1/26（日）・2/23（日））  〇「風土記の丘」の活用  古墳探検ツアーのほか、自然観察等の利用に対する協力や便宜を図っている。  ・風土記の丘古墳探検ツアー 2 回実施  ・南河内自然と子どもネットワーク「自然観察会」３回（今年度計４回予定）  ○広報の実施  ・企画展及び特別展のポスターとチラシ、ミニギャラリー等催しのチラシを作成し、学校、公民館をはじめ各関係機関に配布。  ・各種イベントごとに大阪府政記者会、大阪教育記者会、河南町記者クラブ等に情報を提供。  ・『博物館だより』　発行１回（今年度２回（９・３月）予定）。  ・障害者対策基本法の改正を受け、ホームページを更新。  ・Facebook、Instagramによる迅速な情報提供。YouTubeで博物館や展示・イベントの紹介動画を公開した。  ・各種広報メディアの活用  　ポスターチラシの駅貼　春季企画展4週間  夏季特別展４週間  秋季特別展４週間  　新聞広告の掲載　　　　春季企画展（河内版、泉州版）  　Web広告の掲載　　　　夏季特別展  ○入館者数、館外利用者数及び風土記の丘利用者数  ・総入館者数　　48,197人（4月～11月）  　　　　　　　　　　　（昨年同月比117.4% ）  ・館外利用者数 3,611人（4月～11月）  　　　　　　　　　　　（昨年同月比41.7% ）  ・風土記の丘利用者数76,416人  　　　　　　　　　　　（昨年同月比97.2%）  特別展・企画展の入館者数が好調であったため、全体入館者も昨年より堅調に伸びている。冬の展示はないものの、季節イベントであるうめまつり・さくらまつりの他、河南町のいちごマルシェや大阪府文化課イベントの共同開催も予定しており、展示以外を目的とした来館・来園者を取り込むことにより、利用者の確保・増加を図りたい。    ○類似施設との比較  同規模で交通の便等が類似している高槻市立今城塚古代歴史館と比較する。  ・近つ飛鳥博物館　：48,197人(４月～11月)  前年比117.4％  ・今城塚古代歴史館：35,176人(４月～11月)  前年比95.8％  近つ飛鳥博物館と近しい条件の今城塚古代歴史館と比較すると、今城塚古代歴史館は全体の入館者が微減したが、当館は今年度は増に転じている。今年度は春・夏・秋と特別展・企画展を開催したことによる影響が大きいものと思われる。  ○利用者満足度調査の結果  ・「満足」「やや満足」の割合91.2％  　調査期間：4月1日～11月30日　回答数　434件  ◎自己評価  今年度は、春・夏・秋各季の特別展・企画展が軒並み好調であったことにより、昨年に比べ入館者数をのばしている。展示の内容に対する評価のほか、SNSの活用などの効果も大きいと思われる。その分、冬の展示事業がないための落ち込みが予想されるが、うめまつり、さくらまつりなどの季節イベントもあるため、イベントの充実を図ることにより、利用者の増加のための取り組みを行う。 | Ａ | 〇展覧会・スポット展示などの実施  年度内に評価基準を満たす見込みである。  　春季企画展・夏季特別展においてそれぞれ開催された博物館・百舌鳥古市古墳群の周年記念展覧会や、弥生文化博物館と同時開催した「発掘された日本列島2024」では、考古資料の優品を多く展示した。広く受け入れられる内容の展覧会を実施することにより、来館者の増加につながった。くわえて、大学との連携を活かした展示を実施する点は、博物館の特徴を活かした試みであり、評価に値する。  ○講演会等の実施  年度内に評価基準を満たす見込みである。  ○学校教育との連携  ・学校等の受入  評価基準を満たしている。  ・学校教育の発表の場の提供  現時点で評価基準を満たしておらず、年度内に評価基準を満たす見込みは定まっていない。  ・出前授業の実施  評価基準を満たしている。  ・博学連携事業の推進  評価基準を満たしている。  ○「でかける博物館」事業の実施  ・出張展示  評価基準を満たしている。  ・出張講座・ワークショップ  評価基準を早々に満たし、更なる上積みをはかっている。  ・れきしウォーク  評価基準を満たしている。  ○「府民が参加する博物館」事業の実施  ・近つ飛鳥ギャラリーの実施  年度内に評価基準を満たす見込みである。  ・博物館バックヤード探検ツアー  年度内に評価基準を満たす見込みである。  ○「風土記の丘」の活用  評価基準を満たしている。自然観察等の取組協力もなされており、評価基準を満たす。また、評価項目で設定していなかった自然観察会の開催により、質的な面で「風土記の丘」の活用に与している。  ○広報の実施  評価基準を満たしている。各関係機関に配布するだけでなく、ホームページやSNSを使用した迅速な広報を行っている。くわえて、前年度にない試みとして各種メディアへの広告掲載を実施しており、館の認知度の向上に努めている展が評価に値する。  ○入館者数、館外利用者数及び風土記の丘利用者数  年間目標に対する実績は、入館者数74.1％、館外利用者数27.7％、風土記の丘利用者数62.2％である。入館者数・風土記の丘利用者数については８ヶ月間で60～70%前後であり、年度内には年間目標を達成できる見込みである。館外利用者数については、館外活動の実施時期が前後した関係で昨年同月比に大きな差がみられるが、年度末にかけての出張展示などの活動予定により増加の見込みがある。  ○類似施設との比較  類似施設との比較においては、入館者数は概ね昨年度に準じており、各館の実施した内容に合わせて多少の増減があるとみられる。昨年度に引き続き、コロナ以前の水準に向けてゆるやかな回復基調を見せる。  ○利用者満足度調査の結果  ・「満足」「やや満足」の割合  評価基準を満たしている。  ◎利用者の増加を図るための具体的手法・効果にかかる評価  定量的な評価基準についてはおおむね達成できる見込みであるが、わずかに到達できていない項目がみられる。入館者数等は昨年度から.徐々に増加を見せ、堅実な運営を実施していると理解できる。一方で、新しい形の広報の実施や、アンケート回答数の増加など、情報の発信とフィードバックという点において顕著な成果が評価できる。これらの活動が今後の更なる利用者増加に結実することが期待される。 | A | A |  |  | |
| (4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果 | ◇サービスの向上が図られているか  ○イベントと連携した入館料無料日の実施  ○インターネットの活用  ・ホームページの更新  更新回数 70回  ・SNSの活用  　　Facebook、Instagramの投稿数計150回  ○展示解説リーフレット・解説シートの配布 | ○イベントと連携した入館料無料日 の実施  ・百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録５周年を記念して入館無料とし、古墳群に関する認知度向上を図った（７月6日（土）・７日（日）／展示室入館者数403人）。  ・一須賀古墳群の史跡指定30周年を記念して入館無料とし、古墳群に関する認知度向上を図った（10月５日（土）／展示室入館者数154人）。  ・「関西文化の日」に参加して入館料無料の日とし、府民の利用を促進した（11月16日（土）・17日（日）　展示室入館者数計806人）。  ・敬老の日65歳以上入館料無料として利用促進を図った（９月16日（月・祝）入館者数計219名）。  ・うめまつり（令和６年2月22日（土）23日（日）予定  ・さくらまつり（令和6年3月29日（土）30日（日）予定  ○インターネットの活用  ・ホームページ更新　68回  ・Facebook　 75回（フォロワー数1,540人）  ・YouTubeチャンネル登録者数　490人  　企画展示・風土記の丘などの紹介動画、展示解説動画を作成しFacebook、YouTubeで公開  ・Instagram投稿数58回（フォロワー数801人）  Instagramでは、これまでの当館行事等や考古学的な内容の発信に加え、建物や風土記の丘の自然など、新たな魅力を発見してもらうための内容にも拡大して行っている。  ○展示解説リーフレット・解説シートの配布  ・リーフレット　春季企画展、夏季特別展で作成  ◎自己評価  昨年度改修を行ったホームページの活用を進めるとともに、SNSでの情報発信を積極的に行っている。また、特別展・企画展の際には、効果的な広告媒体へ発信をして、SNS広告の採用なども行い、広範に博物館・風土記の丘の魅力やイベントなどの情報を発信するとにより、明確な効果が表れている。 | Ａ | ○イベントと連携した入館料無料日の実施  無料開放を効果的に行い、サービスの向上を図るとともに博物館活動の理解促進等にも寄与した。  ○インターネットの活用  ホームページやSNSにより積極的に催事の告知や活動の発信がなされている。SNS・ホームページ更新については年度内に評価基準を満たす見込み。  SNSごとの発信内容・方針を明確にして運用しており、順調にフォロワー数も増加している。  ○展示解説リーフレット・解説シートの配布  実施されており評価基準を満たす。  ◎サービスの向上を図るための具体的手法・効果にかかる評価  すべての評価基準を満たしている、あるいは満たす見込みである。前年度に引き続いて各方面への積極的な発信が図られており、認知度の向上につながっている。くわえて、館の活動情報の提供に注力する姿勢が伺え、インターネットを通じたサービスの向上が図られている。 | A | A |  |  | |
| (5)施設及び資料の維持管理の内容、的確性 | ◇施設・設備の維持・安全管理計画は適切か  ○施設及び資料の管理  　・年間計画の策定と適切な実施  　・定期点検の実施と記録簿の作成  ○危機管理  　・マニュアルの履行  ・訓練の実施 | ○施設及び資料の管理  ・年間計画の策定と適切な実施  AKN共同事業体各社との柔軟な連携のもと、施設管理年間計画を策定、月1回のＪＶ会議を開催し、情報共有・対応策の即時実施に努めた。  ・定期点検の実施と記録簿の作成  近鉄ファシリティーズによる年間点検計画を履行し、その報告書を作成。消防用設備等点検結果報告書は、消防法の規定に基づき所轄消防署に提出する。  ○危機管理  ・マニュアルの履行  火災、その他災害の予防および危機事象発生時における対応について定めた危機管理マニュアルに従って対応を行った。11月2日（土）（大雨警報発令のため）、臨時休館した。  ・訓練の実施  自衛消防訓練を12月27日（臨時休館日）に実施予定。  ◎自己評価  博物館施設、設備、館蔵資料について、館内、指定管理者グループ内ならびに所管課との緊密な連絡・相談のもと適正に維持管理を行った。これにより、来館者の見学環境及び資料の保存・展示環境や安全な資料管理に努めた。また、危機管理マニュアルの見直しをおこない、それに沿って対応した。 | Ａ | ○施設及び資料の管理  ・年間計画の策定と適切な実施  年間計画が策定され、計画に沿った施設管理が実施されている。また、緊急を要する災害時や機器等故障時においても適切な対応がなされている。  ・定期点検の実施と記録簿の作成  施設・設備の定期点検が適切に実施され、適切な報告書の作成がなされている。  ○危機管理  ・マニュアルの履行  危機管理対応マニュアルに基づく運営の徹底がなされている。  ・訓練の実施  評価基準を満たしている。  ◎施設及び資料の維持管理の内容、的確性にかかる評価  すべての評価基準を満たしており、適切な管理運営がなされている。施設機器の故障や災害など緊急の際にも、適切な危機管理体制により迅速な対応がとられている。 | A | A |  |  | |
| (6)府施策との整合 | ◇提案に沿った府施策との整合が図られているか  ○世界遺産百舌鳥・古市古墳群の情報  　発信  　・関連展示の実施　２件230点  ○「こころの再生」府民運動への協力  　・「こどもファーストデイ」の実施11回  ◇就職困難者等の雇用  ◇府民・NPOとの協働  ◇環境問題への取組み  ◇大阪府障がい者差別解消条例等に基づく合理的配慮の提供 | ◯世界遺産百舌鳥・古市古墳群の情報発信  ・近つ飛鳥博物館開館30周年記念、百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録５周年記念「５周年！すごいねん！百舌鳥・古市古墳群」展の開催  　令和６年7月6日（土）～9月8日（日）  展示資料数353点（うち重要文化財85点、登録有形文　化財１点）  展示室入場者5,605人  ・世界遺産学習会「世界遺産 『百舌鳥・古市古墳群』について」　8月18日（日）阿部大誠 氏（百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議事務局）  ・関連展示：秋季特別展610点・「でかける博物館」連携展示２点（予定）　合計２件612点（古墳時代中期関連資料）  ◯「こころの再生」府民運動への協力  ・「こどもファーストデイ」の実施  毎月第３土曜日を「子どもファーストデイ」としてワークショップを開催、7回 （11月現在）（年間11回開催予定）。  ◇就職困難者等の雇用  知的障がい者１名の清掃業務への雇用を再委託先で実施。  ◇府民・ＮＰＯとの協働  例年、ＮＰＯ法人等と協働し、古墳の見学会、講演会等の館外活動を実施している。今年度は3月30日にNPO法人フィールドミュージアムトーク史遊会による「さくらウォーク」を実施予定。  ◇環境問題への取り組み  エネルギー価格高騰や電力需給のひっ迫等への対応として、省エネ・節電に努めて、クールビズ（関西夏のエコスタイル）、ウォームビズの取り組みを実施し、館内温度、照明等に関して省エネルギーの意識を徹底させ、バックヤードの過剰照明の間引き、消灯などに取り組んでいる。  ◇大阪府障がい者差別解消条例等に基づく合理的配慮の提供  観光庁による「心のバリアフリー認定施設」の認定を取得。また聴覚障害者対応したUDトークの導入を図った。支援学校や障害者施設等の校外学習受入を積極的に行っている。12月に支援学校高等部を受入予定しており、ワークショップを行う。  ◎自己評価  世界遺産百舌鳥・古市古墳群の造営にかかわる地域や産業などに焦点をあて 、最新の調査研究成果を組み込んだ展示など、情報発信を積極的に行った。また、こころの再生府民運動への協力については提案に沿って積極的に行った。このほか、就労困難者の雇用についても積極的に行った。 | Ａ | ○世界遺産百舌鳥・古市古墳群の情報発信  世界遺産関連展示の進捗状況は夏季特別展・秋季特別展・「でかける博物館」連携展示の合計３件965点として、展示資料点数419％を達成し、評価基準を上回る。世界遺産学習会や「でかける博物館」連携展示など、積極的な取組みがなされている。  ○「こころの再生」府民運動への協力  ・「こどもファーストデイ」の実施  年度内に評価基準を満たす見込みである。  ◇就職困難者等の雇用  計画どおり雇用されている。  ◇府民・NPOとの協働  　適切な協働の企画が実行されている。  ◇環境問題への取組み  適切に実施されている。  ◇大阪府障がい者差別解消条例等に基づく合理的配慮の提供  　「心のバリアフリー認定施設」の認定を取得したことはとりわけ評価できる。聴覚障がい者に対応した講演会や、校外学習の受け入れを積極的に行っている。  ◎府施策との整合にかかる評価  すべての評価基準を満たす、あるいはその見込みであり、全体として計画どおりの実施状況と評価できる。特に百舌鳥古市古墳群自体を中心に添えた特別展の開催は今年度の活動として特筆に値する。 | A | A |  |  | |
| **Ⅱさらなるサービスの向上に関する項目** | (1)利用者満足度調査等 | ◇利用者満足度調査の実施により利用者の意見を把握し、その結果を運営に反映しているか。 | ◇利用者満足度調査の実施による利用者意見の反映  回答数434件。  常設展、特別展、こどもファーストデイなどのイベント開催時にアンケートを実施。それぞれのご来館者ニーズの把握に努めた。  意見を取入れ、講座や教室の最適な開催時間の設定、放映設備の改善等を継続して行い、随時意見の反映に取り組んでいる。  ◎自己評価  アンケートによるご意見を館内で共有し改善に繋げている。 | Ａ | ◇利用者満足度調査の実施による利用者意見の反映  利用者の意見を反映した事業実施がなされている。特に今年度昨年度同時期より回答数が55%増加しており、多くのアンケート結果が収集できている点が評価される。  ◎利用者満足度調査等  開催イベントごとにアンケートを収集し、意見反映に取り組むことで、良好な博物館環境の維持に努めていると評価できる。 | A | A |  |  | |
| (2)その他創意工夫 | ◇その他指定管理者によるサービス向上につながる取組み、創意工夫が行われているか  ○動画等の公開  　・インターネットでの解説動画等の公開  ５件 | ○特別展・企画展の紹介動画の公開。  ・特別展・企画展関連３回（11月現在）  ・こどもファーストデイ７回（11月現在）  ◎自己評価  博物館の情報発信の手段を強化してきた。今後も更に博物館を知ってもらうためのツールとしてさらに活用していく。 | Ａ | ○動画等の公開  評価基準を大きく上回っている。  ◎その他創意工夫にかかる評価  評価基準の回数を大きく上回っており、積極的な運用が認められる点が評価できる。 | A | S |  |  | |
| **Ⅲ適切な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項** | (1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度 | ◇事業収支について、計画どおりに実施されているか | ◇事業収支計画  【収支計画（当初予算）】  収入（税込）  大阪府委託費　 143,200,000円  入館料収入等 6,000,000円  計　　　　　　 149,200,000円  支出（税込）  施設維持管理費　60,174,200円  人件費他 89,025,800円  計　　　　　　 149,200,000円  11月末現在の進捗状況  収入（指定管理料を除く事業収入）81％  支出（11月分請求書まで）　　　65％  ◎自己評価  入館料収入は11月末現在で目標金額の90％に達し、残り4カ月間で目標金額を達成し120％程度になる見込みである。昨年度同時期対比181％増で、春季企画展、夏季特別展、秋季特別展への来館者数の増加および、特別展開催件数の増加が、入館料収入増につながっている。（入館者数：昨年度同時期対比117％増）  その他収入も含めた総額では事業計画の81％に達し、残り4カ月で総収入を達成する見込みである。  支出の割合は、11月末現在で65％。経費節減に留意し、おおよそ計画どおりに進捗し安定的な運営を実現している。 | Ａ | ◇事業収支計画  経費節減に加え、補正予算策定などにより、適切な経費執行が行われている。  ◎収支計画の内容、適格性及び実現の程度にかかる評価  企画展・特別展の開催が影響し、入館料収入が昨年度同時期の金額を大きく上回る見込みである。博物館の修繕も行うなども行うなかで計画的な支出に取組み、バランスの取れた執行が図られている。 | A | A |  |  | |
| (2)安定的な運営が可能となる人的能力 | ◇必要な人員数及び人材を確保・配置のうえ、適切に事業が実施されているか  ◇従事者への管理監督体制・責任体制が整備されているか | ◇提案に沿った運営職員および学芸職員は、昨年度の事業計画人数より１名を追加配置し、出張教室等の館外事業に出向く繁忙期も博物館業務に支障のないように配慮した。統括責任者が6月末に退職し、後任者確定までの2カ月間は代理者を配置した。9月より後任者を配置し、必要人員および人材を確保し支障なく事業を遂行している。  ◇ＡＫＮ共同事業体における博物館定例会議、文化財保護課との連絡会議（各月１回）及び博物館内会議（週１回）を開催し、事業情報の交換、入館状況、注意事項等の周知を図り、責任体制を明確にし、設置者及び法人本部からの適切な管理監督体制のもとに円滑な組織運営を行っている。  ◎自己評価  　博物館の運営を効率的に進めるための必要な職員数を配置し、監督体制・責任体制を維持しながら、適切に事業実施ができている。 | Ａ | ◇必要な人員数及び人材を確保・配置のうえ、適切に事業が実施されているか  計画通りの人員が配置され、充実した事業実施がなされている。  ◇従業者への管理監督体制・責任体制が整備されているか  共同事業体間で日常的に密な連絡調整・情報共有がなされ、明確な管理監督・責任体制のもとで管理・運営がなされている。  ◎安定的な運営が可能となる人的能力にかかる評価  必要な人員の配置による確実な管理監督体制のもと、適切な業務が実施されていることから、評価基準を満たしている。 | A | A |  |  | |
| (3)安定的な運営が可能となる財政的基盤 | ◇法人の財務状況は適切か | ◇【アクティオ株式会社】  指定管理事業で大型案件を受注するとともに、地方での新規案件も順調に受注する。加えて、人々の社会活動の活性化に伴う施設利用料や自主事業の売り上げが増加したことにより、売上高は前期比13.5％増となる。  令和５年度決算（2023年1月～2023年12月）  売上高　　　10,438,115千円  売上総利益　 1,694,200千円  営業利益 395,203千円  経常利益　　　 473,757千円  純利益 324,361千円  借入金なし  【近鉄ファシリティーズ株式会社】  近鉄グループのビル物件等を中心に、地方公共団体や民  間企業の施設維持管理業務等を受注し、さらに事業統合  並びに徹底したコスト削減により安定的収益を維持して  いる。  令和６年度上半期  売上総利益982,894千円  営業利益 358,094千円  経常利益 482,282千円  純利益 330,282千円  借入金なし  【株式会社乃村工藝社】  上期売上高は、下期に大型案件の進捗が集中している影響もあり前年同期に比べ減収となっているが、  通期業績予想は、需要回復および下期に控える大型プロジェクトを着実に推進することで 増収で着地する確度が高いと見込んでいる。  令和6年度上半期（2024年３月１日～2024年８月31日）  売上高　　　　　57,945,000千円  営業利益　　　　1,442,000千円  経常利益　　　　1,527,000千円  四半期純利益　　851,000千円 | Ａ | ◇法人の財務状況は適切か  アクティオ株式会社・近鉄ファシリティーズ・乃村工藝社の３社共に経営状況は安定しており、借入金もない。  ◎安定的な運営が可能となる財政的基盤にかかる評価  グループの各構成員とも安定した経営状況にあり、評価基準を満たしている。 | A | A |  |  | |

　Ｒ５年度評価：A

　　Ｒ６年度評価：　A

Ｒ７年度評価：

総合評価（Ｒ５～７年度）：II

最終評価（Ｒ５～７年度）：

※評価の基準：モニタリング評価は、次の基準により行うこととする。

①項目ごとの評価は下記の４段階評価とする。

　Ｓ：計画を上回る優良な実施状況　Ａ：計画どおりの良好な実施状況　Ｂ：計画どおりではないがほぼ良好な実施状況　Ｃ：改善を要する実施状況

　②年度評価は、次の４段階評価とする。

　Ｓ：項目ごとの評価のうちＳが５割以上で、Ｂ・Ｃがない　Ａ：項目ごとの評価のうちＢが２割未満で、Ｃがない　Ｂ：Ｓ・Ａ・Ｃ以外

Ｃ：項目ごとの評価のうちＣが２割以上。又はＣが２割未満であっても文書による是正指示を複数回行う等、特に認める場合

③総合評価及び最終評価は、次の４段階評価とする。

Ⅰ：評価対象となる年度の年度評価のうちＳが５割以上で、Ｂ・Ｃがない　Ⅱ：評価対象となる年度の年度評価のうちＢが３割未満で、Ｃがない　Ⅲ：Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ以外

Ⅳ：評価対象となる年度の年度評価のうちＣが５割以上。ただし、評価対象期間の後半、取組状況に継続的な改善傾向が認められる場合を除く

※備考：Ｒ６年度は総合評価、Ｒ７年度は最終評価を行う。